

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	特定非営利活動法人 仙台傾聴の会	
代表者名	代表理事 森山英子	
連絡先	TEL : 090-6253-5640 FAX : 022-343-9705	E-mail moriyama-e@r.tulip.sannet.ne.jp

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	パソコン、プリンターの購入資金の助成
事業の目的	<p>誰とも話す機会のない独居の方や閉じこもりがちな方等へ「傾聴」を通して前を向いて生きる活力を見出して頂き、自死予防の役目を果たす傾聴ボランティアを育成すると共に、超高齢化が進むなか、高齢者の社会参加促進に寄与します。</p> <p>「傾聴ボランティア」として、地域社会との連携をはかり、地域住民の心に寄り添い、悩みや不安に耳を傾け、住民の方々が心の安らぎを得て安心した生活を送れるように、自己研鑽を重ね、傾聴活動を行い、地域福祉の増進に寄与します。</p>
事業の具体的内容	<p>パソコンの設置拡充により、これまでの事業に加えて、コロナ禍により、多く求められている自死予防等の「SNS相談」体制を検討することができました。コロナ禍で、対面での会議・講座開催等が難しい中、SNSを活用し、外部依頼の講座を実施。インターネット環境整備の充実により、会の活動や運営上の連絡を取ることができ、効率的、円滑な運営ができました。</p> <p>また、人材育成のための講座の資料作成や大量印刷機の導入により、講座資料印刷、チラシ印刷、傾聴カフェでの歌集印刷等、事務作業の効率化を図ることができました。</p> <p>印刷機の価格が低価でしたので、パソコンを2台購入できましたことは、新規事業に取り組む為の大きな支えになりました。</p>

活動の開始から完了までの流れ

今年度で、パソコンなどの機材を購入して、揃え、次年度から、パソコンを使用して、SNS相談が出来る体制の準備をします。

その為の人材育成を実施していきます。

次年度から、相談体制を見直し、より多くの相談ができる人材育成として、毎月相談員研修を実施していきます。そこから人材を得て活動が出来る体制構築を目指します。そして、若い方々の相談を受ける事で、若い方々の自死予防に繋げていきたいと思えます。

今年度は、相談体制の見直しから、相談事業の養成講座を11/22, 29の2日間10時間コースで開催しました。

●1日目 電話相談の対応の基本的姿勢(5時間)

令和2年11月22日(日)10時~16時 講師 北條 久也氏  
仙台市福祉プラザプラザホール 参加者 35名、アシスタント  
1名、 スタッフ6名

午前10:00~12:00

- 1 電話相談とは 2 電話相談と面接相談
- 3 女性相談について ・家族について ・DVについて  
・エンパワーメントについて

午後1:00~15:30 ■ロールプレイ 演習

●2日目 DV被害者支援のための電話相談(5時間)

令和2年11月29日(日)10時~16時 講師 北條 久也氏  
仙台市福祉プラザプラザホール参加者 32名

アシスタント1名、 スタッフ6名

午前10:00~12:00

- 1 相談員の基本的な視点 2 安全の確保・危機介入
- 3 心理的な支援 4 法律的な支援
- 5 関係機関との連携・関係機関とのカンファレンス

午後1:00~3:00 ■ロールプレイ 演習

今年度実施した「相談事業養成講座」には多数の会員が興味を持って参加してくれたことは、大きな成果です。

<p>活動の成果と教訓</p>	<p>今回の相談事業の見直すきっかけは、若い女性の自死が増えていること、そして、SNS相談が多く寄せられている現状に対して、当法人のできる傾聴スキルを活かし、相談体制の見直しを図ることです。その為にパソコンの出来る人材を活用し、事務所内のパソコンで、相談を受けられるようにしたいと思います。その第1歩として、パソコン購入助成は大きな前進となり、事業の見直すきっかけや事業の拡大に繋がりました。また人材育成として、会員が相談事業講座に多数参加したことは大きな効果です。</p> <p>コロナ禍の中で、Zoomの活用も多くなり、パソコンが事務所にあることで、受ける事が出来る会員が増した効果もあります。</p> <p>パソコンの増設により、「SNS相談」実施に向けての活動に大きな前進となりました。新事業の開始に向けて進むことができたことは、貴助成の大きな効果を感じております。</p> <p>印刷機も講座の資料など大量印刷が可能な機種を購入することが出来ました。このコロナ禍では印刷ができる場所の確保が困難でしたが、密を避け安心して業務ができる環境が整備され、業務の省力化、効率化を図ることができました。</p> <p>更なる充実した活動へと繋がり、住民が求める社会貢献に繋がる効果と考えます。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>・次年度から、この助成いただきましたパソコンを活用致しまして、SNS相談の研修を始めます。</p> <p>パソコンの活用により、2021年度5月から、SNS相談の研修として「関西カウンセリングセンター」の通信講座を5名で受講することになりました。さらに2021年度は、SNS相談の研修講座の開催を外部講師で4回予定しております。その後には相談員の養成など、実際に相談を受ける体制を構築してまいります。助成頂きましたパソコンの活用により、SNS相談実施に向けての活動に大きな前進となりました。</p> <p>今後も若い世代の自死予防の為に「SNS相談体制」の充実を図り、会員の相談員体制の見直しと相談員の増員に向けて組織改革も検討してまいります。これまでの方法にとらわれる事なく、新たな事業の取り組みにも挑戦していきたいと考えています。発想の転換になったきっかけを大事にして今後も地域の支え合いに尽力致します。</p>

## 2、助成金使途報告書

### ■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	220,000 円	2020 年上期助成金
当会より	51,657 円	
合計	271,657 円	

### ■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
品	パソコン 2 台分	263,272 円	228,800 円
備品	印刷機 大量用	81,819 円	42,857 円
	印刷機 PC 用	48,364 円	
	消費税	39,345 円	
合計		432,800 円	271,657 円

\*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

## 3、送付必要書類

- ① 福祉活動助成金 助成活動報告書  
プリントアウトしたものを 1 部郵送、データもメールでお送りください。
- ② 領収書のコピー (郵送)
- ③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)  
\*写真は郵送とメールで送ってください。

